

子どもたちは今……

中学生の意識と実態調査から

新聞紙上を、毎日のようににぎわしている中学生による暴力事件。その原因については、いろいろ論議されていますが、子どもたちは今一体何を考え、学校生活・家庭生活を送っているのでしょうか。

南国市立小中学校長会では、57年10月に『中学生の意識と実態調査』を行い、その結果が今年3月にまとまりました。今回はその内容について、要約してお知らせします。

皆さんも、現代の子どもたちが何を考え、どういう実感を抱くか、これからどのように接して健全育成を進めていくか、もう一度考えてください。

❑良くないことをしている中学生をあなたはどのように思いますか。(上位3つ)

- ①毎日の生活がおもしろくない ……29%
 - ②気持ちがしっかりしていない ……25%
 - ③自分で悪いと知ってやっている ……22%
- では立ち直るためにはどんなこ

調査生徒数(市内4中学校)

学年	性別	男子	女子	計
1年		248人	239人	487人
2年		258	213	471
3年		249	212	461
計		755	664	1,419

在籍生徒数1,447人とは違います



中学生ともなれば、何か打ち込めるものを見つけて欲しいが……

とを。(上位3つ)

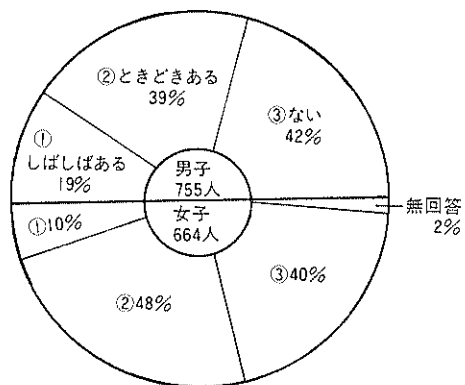
- ①長所を認め伸ばす 36%
 - ②友達どうして忠告しよう 32%
 - ③勉強のことばかり言わない13%
- 一傾向—

非行の原因では「毎日の生活がおもしろくない」が3割を占め、学校や家庭への大きな不満からではなく、何か打ち込めるものがないため、ばく然と非行に走ってしまうようです。勉強以外の事で、若いエネルギーを注げるものを、早く見つけることが大切です。

立ち直るためには、「長所を伸ばす」が最も多く、画一的な教育の問題点も浮かびます。やはり、生徒と先生、子どもと親がある部分において、お互いを認め合うことも大切です。また同じ意識を持つ同世代の仲間の忠告が、更生への大きな力となることを、子どもたち自身も認めています。

❑家出をしたいと思ったことがありますか。

- ①しばしばある②ときどきある③ない



その理由はどんなものか。(上位4つ)

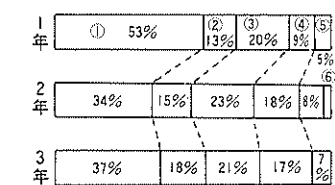
- ①親にしかれたから 35%
 - ②その他 24%
 - ③自分の思う生活がしたい 17%
 - ④生活が単調でつまらない 12%
- 一傾向—

家出をしたいと思ったことがある生徒は男女とも過半数を越え、思春期の心の不安定さがうかがえます。学年別では上級生になるほど高く、女子の率が男子を上回ってくるのが特徴です。

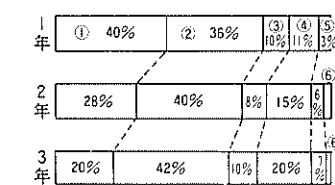
家出のきっかけは「親にしかれ」が最も多くなっていますが、その他という答えが以外に多く、はっきりした動機がなく家出してしまう傾向があるようです。

❑あなたは次のような行動をしたときどう思いますか。

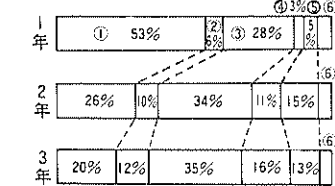
- ①とても恥と思う②少し恥と思う③わからない④あまり恥と思わない⑤全然恥と思わない⑥無回答
- (1)一人だけ目だった行動や、髪を染めたり、はでな服装をすること



(2)教科書、宿題などを忘れること



(3)ないしよで、性に関する雑誌などを読むこと。



一傾向—

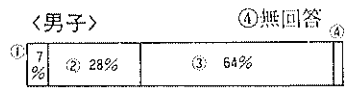
恥の意識は学年差が大きく、上級生になるにしたがって減少し、子どもたちの意識の変化が顕著に

表われています。恥の意識が薄れてくると、逆に目立つことにあこがれたり、外へ何らかの形で自分を主張しようとする意識も働いてきます。

性に関する意識では、恥の意識が学年が進むにつれ大きく変化し、この時期に正しい性知識を教えることが必要です。

❑スーパーや店で品物を見ているうちに、盗みたい気持ちになったことがありますか。

- ①ある②ときどきある③ない④無回答



一傾向—

友達が万引したのを見たことがありますか。

「ある」と答えた人 男子……29% 女子……11%

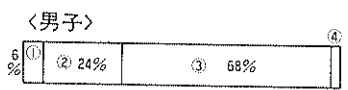
一傾向—

男子では、「よくある」と「ときどきある」を合わせると35%にもなっており、万引を遊びの一種のように考えているようです。

やはり早くから子どもたちに、万引は盗みであり完全な犯罪であることを、しっかりと教えていくことが必要です。

❑タバコを吸ってみたいと思いますか。

- ①いつも思う②ときどき思う③思わない④無回答



一傾向—

小・中学生がタバコを吸うのをどう思いますか。(上位3つ)

- ①わるい 69%
- ②本人の自由だ 16%
- ③わからない 7%

今までに一度でも、タバコを吸ったことがありますか。

「ある」と答えた人

男子……40% 女子……19%

❑どうしてタバコを吸うようになりましたか。(上位3つ)

- ①どんな味が知りたくて 43%
 - ②好奇心から面白半分に 31%
 - ③友人や先輩にすすめられ 10%
- 一傾向—

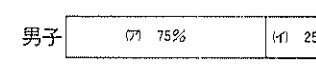
男子では30%、女子でも17%がタバコを吸ってみたいと思っています。意識においても「本人の自由」という意見も多く、青少年の喫煙が体に及ぼす害をもっと知らせる必要があります。特に女子については、結婚後の出産に大きな影響を及ぼすのですから。

❑今までに一度でも、シンナーや接着剤などを吸ったことがありますか。

男子……15% 女子……6%

「ある」と答えた人

(ア)良くないことなのでやめている (イ)良くないとは知っているが、やめられない。



一傾向—

シンナー、ボンドなどの薬物乱用を、現在もやめられず続けている子どもが、少数ではあるが存在することは深刻な問題です。これが常習になると、覚せい剤と同じように身も心も完全にむしばまれ、立ち直ることが困難となります。薬物乱用の「恐ろしさ」をしっかりと自覚させなければなりません。

以上のような子どもたちの実態を踏まえ、私たち大人は何をしたら良いのでしょうか。最も大切なことは、心豊かな子どもが育つ場を作っていくことだと思います。そのための出発点はやはり家庭で親が正しい生き方を実践し、子どもたちの素直な心をはぐくんδειかなければなりません。

今まさに、みんなが、豊かな心を育てるための方策を考えるとにきているようです。